

様式 1

県立水海道第一高等学校【総合的な探究の時間計画】（令和 8 年度）

学校の教育目標

学校生活全体を通して、さまざまな視点から生徒の好き、得意、やりたい、なりたいを引き起こし、そこから生まれる主体的な学びを支援、正解のない未来に人生を主体的に切り拓ける人間形成に資する。

総合的な探究の時間の評価

目標と育成する資質・能力	学習評価	配慮を必要とする生徒への支援方法
正解のない未来に人生を主体的に切り拓ける人間形成。	社会の諸課題に対し、当事者意識を持って独自の探究課題を設定できた。	定期的に対話し、頭の中にあるアイデアを言語化する手助けをする。

各学年における主な取組内容

「総合的な探究の時間」を課題研究等で代替している場合の科目名（ ）

学年	主たる探究課題及び学習活動	外部との連携	育成を目指す生徒像
1年 2年 合同実施	<ul style="list-style-type: none"> ○探究基礎 I II ・探究の意義について把握する。 ・興味関心に基づくトラック選択。 ○専門基礎①② ・各トラックにおける専門講座 ○プレゼミ①～⑦ ・自身で設定したテーマの探究 ○フィールドワーク ・専門機関への訪問、動機付け。 ○海高 EXPO ・成果発表会 	<ul style="list-style-type: none"> ・教育ベンチャー企業との協働展開。 ・各種コンテストへのエントリー。 ・常総市との連携。 ・道の駅常総での社会実装。 ・特別講師による講義。 ・専門機関へのフィールドワーク。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自ら考え、行動することができる生徒。 ・豊かな人間性を持ち、円滑な人間関係を築くことができる生徒。 ・自分自身に必要な学びに気づき、知的好奇心を持って主体的に学習できる生徒。
3年	<ul style="list-style-type: none"> ・進路面談および三者面談。 ・学年集会。 ・進路室の利用。 ・インターネットによる情報収集。 ・特別課外の実施。 	<ul style="list-style-type: none"> ・特別講師による講義。 ・オープンキャンパスへの参加。 ・外部模試の実施。 ・卒業生や教育実習生による講話。 	<p>探究の見方・考え方を働かせ、横断的・総合的な学習を行うことを通して、自己の在り方生き方を考えながら、よりよく課題を発見し解決していくための資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p>